

もうひとつの地球環境問題

会うことのない人たちとともに

プログラム

所長挨拶

立本成文 (たちもと・なりふみ) / 総合地球環境学研究所所長

趣旨説明

窪田順平 (くぼた・じゅんぺい) / 総合地球環境学研究所准教授

話題提供

1



エビから見えてきたもの

村井吉敬 (むらい・よしのり)

早稲田大学アジア研究機構教授。早稲田大学政経学部卒、上智大学外国語学部教授を経て08年4月より現職。専門は東南アジア社会経済論。著書『エビと日本人Ⅱ』など。

2



アムールトラの棲む森は今 —木材越境が招く危機

山根正伸 (やまね・まさのぶ)

神奈川県自然環境保全センター専門研究員。総合地球環境学研究所共同研究員。野生動物と共生できる森林経営を模索し丹沢山地の自然再生や北東アジアの木材貿易などを研究している。

3



越境する健康問題 —リスクのパラドックス

門司和彦 (もじ・かずひこ)

総合地球環境学研究所教授。専門は人類生態学、熱帯公衆衛生学。世界各地に住んでいる人々の生活と健康・疾病の関係の変化を追いかけている。

4



「つなぐ」こと —東ティモールの環境保全型コーヒー栽培

阿部健一 (あべ・けんいち)

総合地球環境学研究所教授。東アジア熱帯林で生態学調査を続けてきた。その過程で環境問題の文化的・社会的側面に興味を持つ。現在の専門は環境人類学・相関地域研究。

パネルディスカッション

村井吉敬 × 山根正伸 × 門司和彦 × 阿部健一



【司会】窪田順平

総合地球環境学研究所准教授。世界各地で水循環・水資源に関わる調査を行ってきた。最近では、乾燥地域における水問題と人間の対応の歴史的变化の解明に取り組んでいる。

【申込方法】

はがき、FAX、E-mailにて●郵便番号●住所●氏名●電話番号●参加人数を明記の上、下記「地球研フォーラム事務局」までお申し込み下さい。後日参加券をお送りします。※お寄せいただいた個人情報、参加券の発送にのみ利用いたします。

【応募締切日】6月23日(月)

定員(250名)に達した場合には、応募を締め切る場合があります。

【申込先・お問い合わせ先】

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4 総合地球環境学研究所 研究協力課 地球研フォーラム事務局
電話 (075) 707-2148 FAX (075) 707-2106 E-mail: forum@chikyu.ac.jp

* フォーラム会場は、地球温暖化防止対策への取り組みのひとつとして、室温を高めに設定します。みなさまも軽装でお越し下さい。*